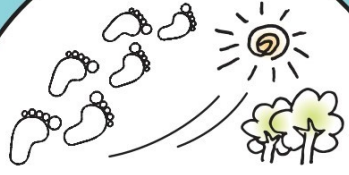


脱炭素&脱原発社会をめざして

# 足温ネット

Edogawa Citizen's network for Climate-Change (ECCC) Since1997



## sokuon net

NPO法人

足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ  
www.sokuon-net.org

## なぜ脱炭素なの?

私たちは、1997年に京都で開催された「気候変動枠組条約第3回締約国会議」をきっかけに活動を始めました。



化石燃料の利用は、**経済を発展させる**一方で**格差も拡大**させ、地球温暖化による気候変動は**災害**をもたらしています。

気候変動を食い止めるため、世界の国々は2050年までにエネルギー起源のCO2排出量を**実質ゼロにする**目標をたてました。

そのためには、**現在の経済のあり方**や**エネルギーの使い方**を見直し、**公平で豊かになる社会**をめざす必要があります。



## 脆弱な江戸川区

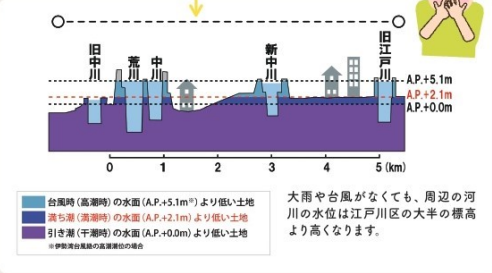
江戸川区は、区域の7割が**ゼロメートル地帯**



江戸川区は、荒川や江戸川と東京湾に囲まれており、区域の7割がゼロメートル地帯(満潮時の水面よりも低い)で、気候変動による台風等の風水害に対して脆弱です。

気候変動対策に取り組む江戸川区では、2022年に「みんなで『いまの生命(いのち)』と『みらいの地球』を守る計画」を作り、2050年に「カーボンマイナス」をめざしています。

しかし、2011年に東京電力・福島第一原発事故を経験した私たちは、犠牲をともなう命がけの温暖化対策ではなく、原発や化石燃料に頼らない脱炭素&脱原発社会をめざす必要があります。



お問い合わせ

活動について知りたい!

ホームページやフェイスブック、インスタグラムから活動内容を見ることができます。



活動に参加したい!

一緒に活動しませんか?  
2種類の会員制度があり、どちらも会費は年1,000円。  
会報「あしもと通信」(年3回発行)が届きます。

運営会員

一緒に活動に参加したい人向け。法人社員として議決権があります。

支持会員

活動を応援したい人向け。議決権はないですが、意見を述べることができます。

特定非営利活動法人

足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

TEL 132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204 info@sokuon-net.org

みんなの電力  
「みんなの電力」を掲げる新電力。高品質再生可能エネルギーを供給している。

ほっとコミュニケーション  
NPO法人環境あすなろ。2015年からスタートして3周年を記念して活動を開始している。

patagonia  
「完全・継続・透明」の3原則を掲げた活動。2015年からスタートして3周年を記念して活動を開始している。

23区衛生生活クラブ生協  
環境共生のまちづくり。環境共生のまちづくり。

ナショナルグリーンデューラー  
環境と健康を両立。環境と健康を両立。

光学院  
江戸川区小島川にある浄水場の施設。1999年に市民電力のスタート。

市民電力連絡会  
市民電力のネットワーク。市民電力のネットワーク。

ゼロエミッションを推進する会  
脱炭素社会実現をめざし、自発的に動きかける。脱炭素社会実現をめざし、自発的に動きかける。

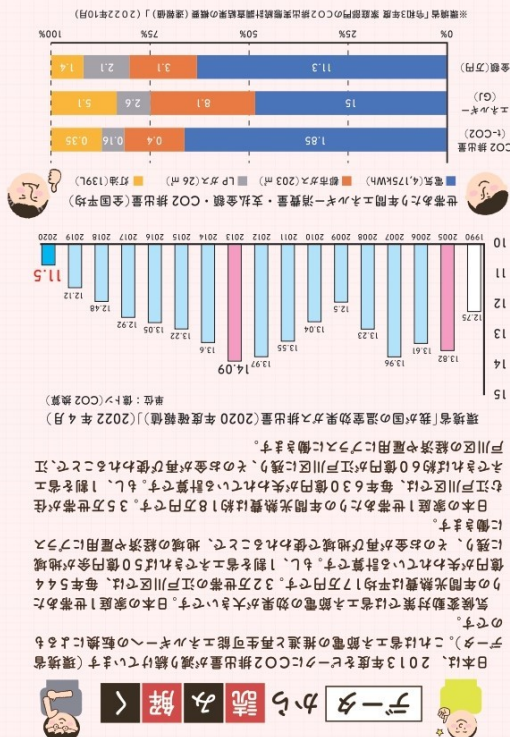
江戸川子どもおんぶず  
環境意識を育てる。環境意識を育てる。

元気力発電所  
NPOが運営する再生可能エネルギー発電所。NPOが運営する再生可能エネルギー発電所。

気候ネットワーク  
気候変動問題で活動する全国の民間ネットワーク。気候変動問題で活動する全国の民間ネットワーク。

えどがわエコセンター  
江戸川区に日本一のエコポイントに認定された認定NPO法人。江戸川区に日本一のエコポイントに認定された認定NPO法人。

## 私たちのネットワーク



## 足温ネットのあゆみ HISTORY OF SOKUON-NET

- 1997 足温ネット発足
- 1997.11 足温ネット発足
- 1997.12 足温ネット発足
- 2000 足温ネット発足
- 2001 足温ネット発足
- 2005 足温ネット発足
- 2006 足温ネット発足
- 2010 足温ネット発足
- 2011 足温ネット発足
- 2015 足温ネット発足
- 2016 足温ネット発足
- 2017 足温ネット発足
- 2018 足温ネット発足
- 2019 足温ネット発足
- 2020 足温ネット発足
- 2021 足温ネット発足
- 2022 足温ネット発足



# えどがわ 市民発電プロジェクト 「えど・そら」

- 1999年から発電所を運営する私たちは、2013年から再生可能エネルギー推進特別措置法に基づく全量固定価格買取制度（FIT）による、えどがわ市民発電プロジェクト「えど・そら」に取り組み、「みんな電力」に売電しています。
- 太陽光発電パネルは、停電時に「自立運転モード」にすると、発電した電気を使うことができます。市民発電所「えど・そら」も自立運転モードで使える非常用コンセントを設けており、停電時であっても周辺の方々に電源を提供できます。地域に市民発電所がたくさんあれば、災害時に停電しても安心です。



## 「寿光院」(10.52kW)

寿光院は、江戸川区で400年続く浄土真宗のお寺で、私たちが1999年に初めて太陽光発電の「市民立発電所」を建設した場所です。



## 「ほっと館」(11.58kW)

ほっと館は、NPO法人が運営している高齢者の共同住宅です。1階にはコミュニティレストランや診療所があります。



## 「駐車場」(22.0kW)

この立体駐車場は地域の不動産屋さんが管理していますが、2層部分を契約する車がなくなったため、そのスペースを活用しています。

# そく おん 足温ネット

## 活動紹介

移動する  
発電所づくり

この発電所は、台車にバッテリーとコントローラー、インバーターを入れた箱と中古の太陽光発電パネルを載せたもので、災害などで街全体が停電しても自立発電でき、移動して使うこともできます。  
※組み立てワークショップを有償でお受けしています。



## picture book

温暖化を伝える  
絵本を作りました



これまで2002年と2012年に絵本を作りましたが、今回の主人公はズメのチュンです。チュンたちが暮らす世界でも地球温暖化で異常気象が起こり命の危険が迫っています。そして、不思議な出来事が起こり温暖化問題を解決に導くというストーリーです。

# オフグリッドハウス 松江の家

- 2015年、国連子どもの権利条約の理念実現をめざす「江戸川子どもおんぶず」の活動拠点「松江の家」を、活動に必要な電気を自給する「オフグリッドハウス」に改造しました。
- 「松江の家」は二つの賞を受賞しました！環境省「令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰」、脱炭素チャレンジカップ2021「気象キャスターネットワーク最優秀市民・学校エコ活動賞」



動画で  
紹介します！



(動画QRコード)



イベント参加や  
講演・見学・提案



毎年江戸川区環境フェアに出展し、気候変動対策の必要性を訴えています。また、江戸川区「エコタウンえどがわ推進計画」や省エネ事業の企画立案に参画したほか、江戸川総合人生大学では講師も務めています。  
※発電所見学や講師派遣を有償でお受けしています。

## 気候変動の えどがわ学

## study

地域で気候変動対策を進めるには、私たちがどのような未来を望んでいるか、そこに向かって何を考える必要があります。武蔵野大学工学部サステナビリティ学科教授の白井信雄さんや地域の方々と連携して「気候変動のえどがわ学」を始めています。



## EVENTS